

東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプト等について

平成 30 年 4 月 10 日、東京オリンピック・パラリンピック調整会議において、以下の事項が決定いたしました。

1 聖火リレーコンセプトについて

Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだす。

< 3 つの視点 >

- ・復興・不屈の精神（支えあう心）
- ・違いを認めあう包容力（認めあう心）
- ・祝祭による一体感（高めあう心）

2 聖火リレーの日数について

	都道府県	各日数	合計 日数
①	東京都		1 5
②	東日本大震災被災 3 県（岩手、宮城、福島）	3	9
③	複数種目を実施する 4 県（埼玉、千葉、神奈川、静岡）	3	1 2
④	上記以外の 3 9 道府県	2	7 8
	上記合計		1 1 4

※総日数は、1 1 4 日に移動日を加えたもの

3 復興の火について

復興オリンピック・パラリンピックの観点から、オリンピック聖火リレーの開催に先立ち、ギリシャで採火した火を「復興の火」として、被災 3 県（岩手、宮城、福島）で順次展示する。

4 ルート選定の基本的な考え方について

(原則)

- ・ 日本全国 47 都道府県を回り、出来るだけ多くの人々が見に行くことができるルート
- ・ 安全かつ確実に聖火リレーが実施できる場所

(その上で)

- ・ 地域が国内外に誇る場所や地域の新たな一面を気づかせる場所
- ・ 聖火が通ることによって人々に新たな希望をもたらすことができる場所

5 ランナー選定の基本的な考え方について

(対象) 全ての人々

- ・ 国籍、障がいの有無、性別、年齢（安全なリレーのために下限年齢を設定）のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする
- ・ 地域で活動をしている人を中心に選定

6 組織委員会から各都道府県への協力要請事項（予定）

- ① 実行委員会の設立・運営
- ② ルート選定
- ③ ランナー公募・選考、当日対応
- ④ 交通整理・沿道整理
- ⑤ セレブレーションにおける演出
- ⑥ 最終ランナー到着の立ち合いや挨拶等
- ⑦ セレブレーション会場の確保・会場整理・観客誘導等



PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2018-078>

2018 年 4 月 10 日

東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプト発表 「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」

東京 2020 組織委員会は、本日、東京オリンピック・パラリンピック調整会議において東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプトを報告し、了承を得ました。

コンセプトは、「Hope Lights Our Way（英語） / 希望の道を、つなごう。（日本語）」です。昨年 2 月に立ち上げた聖火リレー検討委員会において検討され、国際オリンピック委員会（IOC）の承認を得たものであり、コンセプトの柱となる 3 つの視点「復興・不屈の精神」「違いを認めあう包容力」「祝祭による一体感」を盛り込んでいます。（別紙）

東京 2020 大会のオリンピック聖火リレーは、聖火の光が多くの人々にとって希望の道を照らしだすものとしします。

聖火は全国を回ります。震災から 10 年目の被災地も訪れることになり、新しい時代の希望のオリンピック聖火リレーとして、復興に力を尽くされている方々にも、元気や力を届けてまいります。また、震災当時世界中から寄せられた支援や励ましに対し、震災から 10 年目の日本の姿を感謝の気持ちとともに発信し、困難を乗り越える人々の力・不屈の精神をしっかりと伝えていきます。

調整会議は、リレー日数についての考え方、ルートおよびランナー選定の考え方、オリンピック聖火リレーに先立ち聖火を「復興の火」として東北被災 3 県で順次展示する方針など、オリンピック聖火リレーの重要方針について下記のとおり決定しました。

2 年後に迫ったオリンピック聖火リレーの開催に向けて、引き続き関係機関と緊密に連携して準備を進めてまいります。

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Gold Partners



TOKYO 2020

記

■東京 2020 オリンピック聖火リレーの日数についての考え方（別紙）

- 全国を丁寧に戻るために、100 日を上回る日数を設定。
- 東日本大震災被災 3 県（岩手、宮城、福島）については、日数の配慮をし、各県 3 日を設定。
- 東京都については、開催都市としての位置づけを十分考慮し、15 日を設定。
- 複数種目を実施する 4 県（埼玉、千葉、神奈川、静岡）については、日数の配慮をし、各県 3 日を設定。
- 上記以外の 39 道府県については、長野大会各 1 日を上回る、各道府県 2 日を確保。

■復興の火

- 復興オリンピック・パラリンピックの観点から、オリンピック聖火リレーの開催に先立ち、ギリシャで採火した火を「復興の火」として、被災 3 県（岩手、宮城、福島）で順次展示する。
- 詳細は、今後関係機関と調整。

■ ルート選定の基本的な考え方（別紙）

■ ランナー選定の基本的な考え方（別紙）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

東京 2020 組織委員会

広報局広報部戦略広報課

電話：03-6631-1949 / FAX：03-3502-8874

担当：渡邊（享）、秋葉

Email：pressoffice@tokyo2020.jp

【公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会について】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と東京都により 2014 年 1 月 24 日に一般財団法人として設立され、2015 年 1 月 1 日付で公益財団法人になりました。第 32 回オリンピック競技大会は、2020 年 7 月 24 日（金）～8 月 9 日（日）の日程で、東京 2020 パラリンピック競技大会は、2020 年 8 月 25 日（火）～9 月 6 日（日）の日程で開催されます。東京 2020 大会に向けて組織委員会は、JOC、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）、東京都、政府、経済界、その他関係団体と共にオールジャパン体制の中心となり、大会の準備及び運営に関する事業を行います。

Web: tokyo2020.org | Facebook: facebook.com/tokyo2020 | Twitter: twitter.com/Tokyo2020jp

Instagram: <https://www.instagram.com/tokyo2020/> | LINE: <https://line.me/R/ti/p/%40tokyo2020>

東京 2020 の大会ビジョン

スポーツには、世界を変える力がある。2020 年は、史上最もイノベティブで、世界中にポジティブな変革をもたらす大会とする。

1) 全員が自己ベスト 2) 多様性と調和 3) 未来への継承

<https://tokyo2020.org/>

東京2020オリンピック聖火リレーの日数について

	都道府県	各日数	合計日数	備考
①	東日本大震災被災 3 県 (岩手、宮城、福島)	3	9	
②	東京都		1 5	
③	複数種目を実施する 4 県 (埼玉、千葉、神奈川、静岡)	3	1 2	
④	上記以外の 3 9 道府県	2	7 8	
	上記合計		1 1 4	



総日数は**1 1 4 日**に**移動日**を加えたもの

※各都道府県に以下のご協力・ご負担をお願いする前提

- ①実行委員会の設立・運営
- ②ルート選定
- ③ランナー公募・選考、当日対応
- ④交通整理・沿道整理
- ⑤セレブレーションにおける演出
- ⑥最終ランナー到着の立ち合いやご挨拶など
- ⑦セレブレーション会場の確保・会場整理・観客誘導等
など

東京2020オリンピック聖火リレー 全体フレーム

〔東京2020オリンピック聖火リレーイメージ〕

日本全国を盛り上げるリレー

地域の特色を活かしたリレー

誰もが参加できるリレー

持続可能/安全・確実なリレー



〔聖火リレー検討委員会での3つの視点〕

被災から立ち上がる「復興・不屈の精神」、様々な「違いを認めあう包容力」、地域の「祝祭による一体感」が
人々にポジティブな改革をもたらす可能性を、全国民で示そう。
そして東京2020オリンピックへの期待感を最大化しよう。



〔東京2020オリンピック聖火リレー コンセプト〕

希望の道を、つなごう。
Hope Lights Our Way

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、
新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らしだす。

ルート選定の基本的な考え方

原則

- 日本全国47都道府県を回り、出来るだけ多くの人々が見に行くことができるルート
- 安全かつ確実に聖火リレーが実施できる場所

その上で

- 地域が国内外に誇る場所や地域の新たな一面を気づかせる場所
- 聖火が通ることによって人々に新たな希望をもたらすことができる場所

ランナー選定の基本的な考え方

対象：全ての人々

- ・国籍、障がいの有無、性別、年齢（※安全なリレーのために下限年齢を設定）のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする
- ・地域で活動している人を中心に選定

復興・不屈の精神（支えあう心）

- 日々の生活の中でも、家族、仲間、同僚などお互い支えあって、諦めずにどんな困難にも立ち向かう人

違いを認めあう包容力（認めあう心）

- 様々な人々との違いを認めあいながら新たなものに取り組んでいる人

祝祭による一体感（高めあう心）

- ランナーとして走ることで、地域の一体感を高めあう事ができる人

※聖火ランナーとして走ることを宗教的・政治的な目的のために利用しない。（IOCランナー選定ルール）

- ・具体のランナー選考基準は、上の考え方を踏まえ、ランナーの人数、ルート等が明らかになる時期(2019年)に選考方法とともに決定。
- ・各都道府県やスポンサーが選考した候補者を含むすべてのランナーを組織委員会がとりまとめ、IOCの了解を得て決定。